

日本の伝統芸能 歌舞伎

◎ 歌舞伎の成り立ち

() 時代の初め、() とよばれた派手な身なりの若い男たちが京の街を歩き回る。



出雲の() が男装して演じる。



女歌舞伎 ⇨江戸幕府の禁止⇨若衆歌舞伎 ⇨江戸幕府の禁止⇨野郎歌舞伎が許可



演劇生の高い総合芸術が確立 音楽()・舞踊()・演技()

◎ 見どころ

○ 荒事 (あらごと)

- ・() 顔の血管や筋肉を誇張して書かれた筋。
- ・() 力強さを表わす手段。一瞬動作を静止することで、見栄えのする印象を残す。
- ・() 見得と対照的に、より勇ましく大きく見せる。

○ 舞台の構造

- ・() 役者や大道具を上下に移動させる
- ・() 短時間で場面転換する。
- ・() 下手側の舞台から客席の間を通っている通路。
- ・() 花道にあるせり。幽霊や妖怪などの役が登場する。

○ 劇場全体をつかうアクロバットな演出を() という。

◎ 歌舞伎の音楽

- ・三味線音楽 唄い物系(), 語り物系(), ()
- ・囃子 三味線・笛・太鼓・大鼓・小鼓など
- ・() とよばれる部屋で、太鼓や鉦を使って情景描写をする。

◎ 鑑賞メモ

「平家女護島 (へいけによごがしま) ~ 俊寛」

「義経千本桜 (よしつねせんぼんざくら) ~ 川連法眼館 (かわつらほうげんやかた)」

日本の伝統芸能 文楽

◎ 文楽の成り立ち

() 時代に発展した人形劇。

人形浄瑠璃が () 時代以降文楽と呼ばれた。

義太夫節を演奏する語り手 () ・三味線・() 遣いという三つの役割が一体となることを () という。

◎ 文楽の舞台

() 舞台前面部が掘り下げられ、人形の足がちょうど地に着く。

() 舞台上手に張り出している。太夫と三味線が座る。

◎ 文楽の音楽

江戸時代に独特の語り口で人気を博した竹本義太夫にちなみ () 節とよばれる。

人形芝居の人気脚本家 () の脚本を用い、発展した。

楽器は、竿の太い () の三味線を使う。

◎ 人形の操作

「三人遣い」

() 人形のかしら・右手の操作。

() 人形の左手（客席から見て右側）の操作。黒衣

() 人形の後ろで、足を担当。黒衣

◎ 鑑賞メモ

「平家女護島（へいけにょごがしま）～鬼界ヶ島の段（きかいがしまのだん）」

「義経千本桜（よしつねせんぼんざくら）～道行初音旅（みちゆきはつねのたび）」

2年 組 () 氏名